

著名工事 視察の手引

本欄は次の順序に配列掲載します。**①**工事名及位置 **②**工事概要及特長 **③**工事に用設備 **④**現狀 **⑤**設計及監督主任 **⑥**現場主任及請負者 **⑦**工期 **⑧**視察道順及附近名所 **⑨**其他。

六月現在

①天鹽川橋梁架渡工事 遠別線幌延起點3K536M **②**渡船式により93M00構桁(自重336噸)を架渡するものなり、船は河水を出入せしめて上下し、構桁を所定の位置に据付く **③**幌延方に桁組立用足場として杭打構柱上に19M20鋼桁10連を架渡せり。其他桁組立用ゴライアス、桁送用トロッパー、船足場等 **④**天鹽川河口に93M00構桁を架し之に接し幌延方は19M.0鋼桁6連、天鹽方は同4連を架す。構桁送付当日は風速約4M00、流速0M00なり **⑤**鐵道省北海道建設事務所技師藤井松太郎氏 **⑥**技手瀧田秀造氏、桁送付一切投請負本澤組 **⑦**昭和10年5月28—29日 **⑧**宗谷線幌延より分岐す。

①鐵道省信濃川水力發電工事(第一期)新潟縣中魚沼郡 **②**水路式總延長12杆、中魚沼郡貝野村千手町間、取水堰堤(コンクリート)、沈砂池、水路隧道、調整池、土堰堤、連絡水槽、壓力隧道、調壓水槽、發電所放水路等、材料用軌道延長20杆、スチームシヨベル、コンクリートプレッサー、パイプレッター、ウォークリーター等 **④**調壓水槽、鐵管路、發電所は未着手、其他施行中にして約5割の進行 **⑤**鐵道省電氣局及建設局、信濃川電氣事務所長釘宮馨氏 **⑥**技師阿部謙夫氏、三好新八氏、渡邊義道氏、中矢隆雄氏、小田金治氏、調整池及壓力隧道半分は直轄工事、請負者栗原組、佐藤組、間組、飛鳥組、鐵道工業、鹿島組、大倉土木、西本組 **⑦**昭和6年より同13年に至る **⑧**省線十日町驛より飯山鐵道及乗合自動車の便あり、二時間の行程に松之山温泉、野澤温泉あり。

①豐橋線第一工區新所下尾奈間 (豐橋起點自11K200M至19K200M) **②**土工其他新設工事 **③**請負金額78,600圓、工事(利木隧道6.5M)橋梁9個所、切取78,000立米、築堤134,009立米を主要とす **④**省略 **⑤**全工程の約55%進行 **⑥**鐵道省熱海建設事務所知波田詰所主任技手和田源藏氏 **⑦**現場主任三瓶盛氏、大林組の請負 **⑧**着手昭和9年6月15日竣功昭和10年12月14日 **⑨**東海道本線鷺津驛より約7杆、乗合自動車の便あり。

①豐橋線第二工區下尾奈三ヶ日間 (豐橋起點自19K200M至23K520M) **②**土工其他新設工事 **③**請負金額92,800圓、主要工事(橋梁5個所、切取44,000立米築堤78,000立米 **④**省略 **⑤**全工程の15%進行 **⑥**鐵道省熱海建設事務所三ヶ日詰所主任技手小田島薫氏 **⑦**現場主任立野孝太郎氏、請負讓原爲次郎氏 **⑧**着手昭和10年1月15日竣功昭和11年5月14日 **⑨**東海道本線鷺津驛より約12杆、汽船及乗合自動車の便あり。

①二俣線第五工區自北鹿島至西鹿島間 (掛川起點自

28K040M至28K590M) **②**土工其他新設工事 **③**天龍川橋梁工事を主要とし直轄工事なり、橋梁延長404M8.55 **④**省略 **⑤**本橋梁工事は天龍川洪水の爲屢々工事施行上障害を來したれど豫期以上の工程を見、全區間の約70%竣功せり **⑥**鐵道省熱海建設事務所、二俣詰所主任長谷川章平氏 **⑦**なし **⑧**着手昭和9年4月竣工昭和10年12月 **⑨**東海道本線濱松驛より遠州電鐵に乘換二俣驛下車、驛より約200米。

①伊東線第三工區下多賀宇佐美峠間 (來宮起點自8K300M至9K420M) **②**掘鑿其他直營工事 **③**宇佐美隧道の掘鑿を主體とし其延長2K920Mにして地質不良、湧水量増加、氣温の上昇等工事施行上困難なるもの多く介在せる爲直營にて施行す **④**隧道内の換氣設備外省略 **⑤**湧水、地質不良、氣温の上昇等幾多の困難なるものに出合し工事は相當の苦心を要す **⑥**鐵道省熱海建設事務所網代詰所主任技手原行雄氏 **⑦**現場主任井島春海氏、請負は間組である **⑧**昭和9年11月着手、昭和12年3月竣工 **⑨**伊東線網代驛下車、驛より僅かに300Mにして隧道口に達す。

①伊東線第四工區宇佐美峠初津間 (來宮起點自9K420M至12K100M) **②**土工其他新設工事 **③**請負金額107,800圓工事は大體宇佐美隧道南口を主とし橋梁4個所並に之に關聯する切取及築堤等 **④**省略 **⑤**工事は全區間の約70%進行 **⑥**鐵道省熱海建設事務所宇佐美詰所主任丹羽良彦氏 **⑦**現場主任林四郎氏請負中央土木株式會社 **⑧**着手昭和8年7月20日竣工昭和10年9月19日 **⑨**東海道本線熱海驛より約12K、自動車の便あり、伊東温泉に接し其距離僅かに3Kなり。

①鐵道省廳舎新築第一期工事 東京市麹町區丸之内一丁目一番地 **②**廳舎は鐵骨鐵筋コンクリート造地上8階地下1階建、高地上31米建坪4,454平米延坪40,090平米 **③**省略 **④**敷地切取(約43,000立米)の上基礎杭打(生松丸太末口21種長11.9米~14.7米6,110本)工事中及鐵骨(約5,940噸)製作中なり **⑤**設計鐵道省工務局建築課、監督主任東京改良事務所伊藤技師 東京改良事務所井代技手、基礎杭打飛鳥組、鐵骨製作及建方横河橋梁製作所 **⑦**自昭和10年1月至昭和13年3月 **⑧**東京驛降車口前 **⑨**第二期工事施行期は未定なれど此延坪18,692平米にして之が竣工の曉は總延坪59,997平米となる。

①津田沼電車庫新設其一土工其他工事 總武本線津田沼驛附近 **②**船橋千葉間電車運轉に伴ひ津田沼に電車庫設置の要あり、東京電氣事務所の委託に基き土取場跡に電車庫を新築し之に通する土工線を撤去し複線敷設の爲の土工を爲す **③**省略 **④**土工及建物工事竣工し庫内諸設備機械据付中 **⑤**東京改良事務所技師

著名工事

視察の手引

本欄は次の順序に配列掲載します。①工事名及位置②工事概要及特長③工事に用設備④現状⑤設計及監督主任⑥現場主任及請負者⑦工期⑧視察道順及附近名所⑨其他。

中原壽一郎氏②技手岡田静雄氏、株式会社小林組⑦昭和10年1月着手昭和10年5月3日竣工⑧津田沼驛より徒歩10分、谷津海岸習志野あり。

①汐留驛改築工事 東京市芝區新橋汐留驛構内②震災後の假建造物復舊工事並に構内配線變更、舊配線と新配線とは殆んど直交するたゞ線路の切換甚だしく面倒なり、積卸場上には電弧銲接を用ふ③省略工事は7分通りの竣工を見、積卸場全9本の内6本使用開始鉄筋コンクリート建驛本屋竣工④東京改良事務所技手佐藤輝雄氏⑤技手星野清吉氏、東海工業合資會社⑥昭和9年1月25日より昭和10年12月24日まで、2個月早くなる見込⑧新橋驛下車東に約1町、濱離宮、中央卸賣市場、芝浦埠頭等、尙構内に鐵道發祥地の記念標あり。

①田端驛構内江戸坂跨線道路橋鐵桁製作及架設工事②府道新設に伴ふ道橋改築工事、突桁式下路鋼鉄桁(鐵脚付)にして全電弧銲接橋なり、全長135.0米橋脚中心間53.0米、左右控桁支間40.5米、車道7米歩道各2米③直流電弧銲接機10馬力18臺④工程7分、現場銲接作業は約3分⑤設計鐵道大臣官房研究所技師稻葉權兵衛氏、監督東京改良事務所技師内山祥一氏⑥技手加藤田敬太氏、株式會社川崎造船所⑦着手昭和9年11月1日竣工昭和10年7月5日⑧田端驛下車

①日暮里南千住間線路改築工事第一工區②三河島驛構内入口に於ける旅客線と貨物線との平面交叉を立

體に改めると同時に三河島大踏切道を立體交叉にするための工事の一部、兩側土留擁壁による盛土式③省略④工程3分⑤鐵道省東京改良事務所技師内山祥一氏⑥技手小堀豐作氏、請負奥村太平氏⑦着手昭和9年10月15日竣工昭和11年8月14日⑧日暮里驛下車。

①日暮里南千住間線路改築工事第二工區②三河島驛構内入口に於ける旅客線と貨物線との平面交叉を立體に放めると同時に三河島大踏切道を立體交叉にする爲の工事の一部、兩側擁壁による盛土式なるも大部は壓氣潜函工法井筒基礎による鐵桁架設(潜函57基)③空氣壓縮機75馬力1臺、200馬力2臺、空氣閘7基、療養閘1組④工程3分にして潜函は57基中33基着手内11基竣工⑤鐵道省東京改良事務所技師内山祥一氏⑥技手小堀豐作氏、請負鐵道工業株式會社⑦着手昭和9年10月15日竣工昭和11年8月14日⑧三河島驛下車。

①日暮里南千住間線路改築工事第三工區②三河島驛内入口に於ける旅客線と貨物線との平面交叉を立體に改めると同時に三河島大踏切道を立體交叉するための工事の一部、片側土留擁壁片側石垣による盛土式③省略④工程3分⑤鐵道省東京改良事務所技師内山祥一氏⑥技手小堀豐作氏、株式會社鹿島組⑦着手昭和9年8月15日竣工昭和11年8月14日⑧三河島驛下車。

—江戸坂跨線道路橋工事(全銲接)—

